

沖縄の保健所における MSM (Men who have Sex with Men)向け 郵送 HIV 検査の実装と評価

研究分担者 本間 隆之 (山梨県立大学看護学部)
研究協力者 沖縄県那覇市保健所、沖縄県南部保健所、玉城 裕貴 (nankr OKINAWA)、
新里 尚美 (感染症診療ネットワークコーディネーター)、
仲村 秀太 (琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学)

研究要旨

目的：郵送 HIV 検査キットを用いた保健所での HIV 検査事業の評価と課題の検討

方法：配布した郵送検査キットの利用状況を追うことのできる検体の追跡管理システムとともに検査キットの運用を行った。沖縄県那覇市保健所および沖縄県南部保健所において、2023年12月に検査会を実施した。

結果：44名が受検した。満足度は9割が好意的な反応であった一方で、改善を望む意見も半数からあげられた。特に時間がかかることや梅毒など他の性感染症との同時検査、事前情報の充実などの意見があった。検査会社や保健所職員等からは手順やシステムなどについての具体的課題や改善点がフィードバックとして挙げられ、今後役に立つ知見が得られた。

考察：HIV 検査初受検の人が約半数であった。利便性の高い検査を信頼のある保健所が提供することで相談支援や治療につながりやすい検査機会を提供できたと考える。保健所など検査提供側にとって、郵送検査をスムーズに運用することにより、新興再興感染症等の流行時にも活用可能な HIV 検査提供手段の一つとして有用である。その他、改善および検討すべき点が、明確になった。すなわち、検査キットや管理システムを保健所、受検者双方にとってより使いやすい形に改善するとともに、利用しやすい資材やマニュアルなどを整備することが必要。郵送検査キットや HIV Self Testing、梅毒など性感染症の同時検査など利便性の高い検査を実施できるよう法制度の整理や見直しを行うことで、検査機会の拡大が期待できる。必要な人に利便性の高い検査や感染予防の情報を伝えることができる仕組みを継続的に維持していくことが重要である。

A. 研究目的

1. 研究の背景

HIV 検査数は、全国の保健所で無料かつ匿名の HIV 検査・相談 (voluntary counseling and testing ;VCT) が実施された 1993 年以降増加し、2010 年から 10 年間ほどは保健所等の HIV 検査件数は 13 万件前後で推移していた。2020 年には COVID-19 パンデミックが起これ、保健所や感染症担当部署の業務が COVID-19 関連業務にシフトしたことにより、HIV 検査も縮小され保健所による HIV 検査数は約 7 万件と、前年比で半数以下となった。この流れは 2021 年以降も続くこととなり、

新興・再興感染症流行期における HIV 検査数の維持が課題となっている。

今後の新興・再興感染症の流行や急激な社会的要因の発生において、HIV 検査機会を維持確保するためには、保健所以外の民間の力を活用する制度として整備するか、保健所での医療従事者による採血を伴う HIV 検査に代わって人的コストを抑えた方法を追加する必要がある。現在、世界保健機関 (WHO) では、自己検査 (HIV Self Testing) や乾燥ろ紙血検体 (Dried Blood Spot testing) の郵送検査が認証され、世界各国で使用されている。この郵送検査は人を介さず簡便に検査を利用し

たい受検希望者のニーズにも沿うものとなっている。

我が国における乾燥ろ紙血検体を用いた郵送 HIV 検査については、2021 年における郵送検査会社 10 社回答の調査結果から、年間検査数は 104,298 件と、すでに保健所の検査件数を上回る勢いで普及している。

実際に郵送検査を活用した研究としては、国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センターの国際医療研究開発費による「UNAIDS が掲げる臨床評価指標 90-90-90 達成のための男性同性愛者に対する新しい HIV 検査システムの構築に関する研究（研究代表者岡慎一）」（2014～2016 年）および、厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「MSM に対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究（研究代表者金子典代）」（2017～2019 年）により実施した研究が日本で初の郵送検査のトライアルとなり、2087 人の MSM (Men who have sex with Men:男性と性交渉をする男性) が郵送検査キットを受け取り利用した。こういったことから日本エイズ学会は 2021 年 3 月 15 日に「濾紙検体を用いた HIV 検査の適正な提供に関する声明」を出し、その留意点と有効性について提言することにより、国内での活用の必要性を言及した。2022 年には、医薬品医療機器総合機構による「HIV 検査試薬ルミパルスプレスト HIV A g/A b の全血ろ紙血検体への検体種の適応拡大」の認可があり、日本においても正式にろ紙血検体を用いた HIV 感染症の郵送検査を行うことができるようになった。

HIV の早期発見の程度を推察する指標として HIV 感染者報告数と AIDS 発症者報告数の合計に占める、AIDS 発症者報告数の割合が用いられる。この値は全国において約 3 割で推移しているのに対して、沖縄県では、2020 年に 43%、21 年に 38%、22 年に 53%と、全国の数値と比べても多くなっている。また、研究準備当時の 2024 年度はじめにはインフルエンザの流行などもあり、観光地として入込客数が多いことや島しょのため感染症の流行に敏感な地域である。

2. 研究の目的

保健所における HIV 検査事業として、「乾燥ろ紙

血検体を用いた郵送 HIV 検査キット」を活用する際の課題の検討を目的とした。保健所で郵送検査配布モデル事業実施することにより、実施体制、運営者による評価、利用者による評価を得る。

このたびの研究への協力が得られたため、沖縄県那覇市保健所および沖縄県南部保健所において、実施することとした。

B. 研究方法

1. 実施準備

1) 実施保健所との調整

保健所等関連機関との準備会議を実施した。その中で、保健所の通常業務として実施することを確認し、その手順について検討を重ねた。各保健所からの懸念点を挙げてもらい、それらの解決に向けて検査会社や保健所と協議を重ねた。

実施日程は、那覇市保健所が 2023 年 12 月 8 日（金）11 時～19 時、沖縄県南部保健所は 12 月 10、11、12、13、15、16 日の日曜日から土曜日の 6 日間 9 時～12 時、13 時～17 時で実施した。この時期は世界エイズデーの検査キャンペーンが終わる時期であるため、検査件数は多く見込めないがキャンペーンで検査に気づき、受検する人をおおよそその対象と考えた。

実施前には、研究分担者が各保健所を訪れ、沖縄県感染症診療ネットワークコーディネーターの同席の上で、HIV 郵送検査キットの配布に必要な手順と相談支援の方法について協議した。保健所と受検者双方にとって実施しやすい体制を重視するとともに、今回初となる郵送検査結果陽性者の対応についても議論の上、流れを整理した。

2) 検査会社との調整

従来の郵送検査キットは、配布時点以降の受領者の状況を、配布者が確認することができない。そのため、検体採取状況や検査結果に応じた配布後の相談および支援を行うことができなかった。今回使用する郵送検査キットは、株式会社 H.U. POCkET が開発した検査キットおよび検査検体追跡管理システムを利用した。保健所職員はこのシステムを用いて提供した検査キットの返送状況、結果確認状況を確認することができる。

検査検体追跡管理システムは検査会社がすでに有していた一般医療機関向けの管理システムで

あった。今回はそれを保健所職員が扱えるシステムに改変するとともに、検査結果を受検者が個人で見えることを前提とした理解しやすい内容と操作環境になるよう、保健所とともに都度助言を行い、仕様変更や補助資材作成を行った。

3) MSM 向け広報担当との調整

HIV 感染症において我が国においてもゲイ・バイセクシュアル男性 (MSM: Men who have Sex with Men) がキーポピュレーションとなる。沖縄県那覇市を対象として HIV 予防啓発を行っているコミュニティセンター mabui を運営する nankr OKINAWA と協議を行い、今回の郵送検査キット配布を MSM 集団に広報する手段とその実施への協力について協議の上で依頼した。

4) 検査の名称

郵送検査は本来郵送による受領と返送で完結するところを、保健所に受け取りに行く手間があること、手間ではあるが相談や支援を担う保健所の職員に現地で接して確認できること等を加味して、本検査は「テイクアウト HIV 検査」という名称とし、広報でもこの名称を用いることとした。



2. 対象者

対象者の基準

検査キットの配布対象者は、研究実施保健所に来場できること、18 歳以上であること、説明書および同意書の内容を理解した上で研究参加の意

思を示すこと、日本語によるコミュニケーションがとれること、各自のデバイスで結果を確認できることとした。対象外の人においても来場の上で HIV 検査を希望する人に対しては、保健所職員の判断により、通常の検査相談の案内や医療機関での検査を紹介することとした。

リクルート方法

MSM 集団向けに対しては、コミュニティセンター mabui の協力を得て周知広報を実施した。那覇市のゲイバーやコミュニティセンター mabui に説明サイトへリンクする 2 次元バーコードを掲載したポスターやチラシを掲示。MSM 向けのアプリやウェブサイト、SNS 上に広報バナーを表示した。ポスターの 2 次元バーコードを読み込むあるいは web サイト上の広報バナーをクリックすると研究および検査の詳細を説明したランディングページに誘導された。検査希望者は予約不要で開催日に直接保健所を訪れるように案内した。MSM 向けアプリでは検査の 2 週間前から広告展開を行った。

また、沖縄県南部保健所からはホームページへの掲載や来所者への案内、沖縄 HIV 臨床カンファレンスのサイトへの掲載、沖縄県感染症診療ネットワークコーディネーターから SNS への投稿などにより広報を行った。

2. 検査の流れ

①保健所へ受検者が来場して受け取り

受付で保健所職員が来場者に来場目的の確認をする。文書及び口頭による説明を行い、来場者の自由意思による同意得る。検査キットのパッケージを受け取る。

②受検者による登録

パッケージ内にあるリーフレットに記載の QR コードを、受検者自身のスマートフォンで読み取り、HIV 郵送検査管理システムにアクセスする。システム上で検査キットのポリチューブに印刷されているバーコードを読み込んだ後、メールアドレスとパスワードを登録する。

メールアドレスを登録後、問診アンケートに回答する。問診アンケートは、那覇市保健所の項目を可能な限り反映して次の項目をたずねた。年齢、

性別、国籍、居住地、HIV 受検経験、最後に受けた HIV 検査の時期と場所、性感染症罹既往、性交渉相手の性別、過去 1 年間の性交渉相手人数、今回の郵送 HIV 検査を知った媒体、検査を受けたきっかけ、過去 6 か月間の HIV 予防方法。

アンケートを答え終わると、検体採取方法の動画を再生することができる。退所後に動画を確認することもできる。

③持ち帰り

受検者には数日以内に採血して検体を郵送するよう確認する。その場で採血や検査に関する質問や相談がある場合には、保健所職員が対応する。

④検体採取・送付

受検者は検査キットを持ち帰り、添付のランセットを用いて、ろ紙への血液採取を実施する。その際、QR コードから採血方法の動画を参照することができる。ランセットは予備用を含め 2 つ添付されているが、それで十分な採血ができなかった場合は保健所に問い合わせることとした。保健所では状況を確認し、新しいキットを渡すなどの対応を行う。

血液を採取したろ紙をポリチューブにいれ、ランセットとともにキットに同梱の封筒に入れて、ポストに投函してもらう。保健所への持ち込みは受け付けない。

検査キットに関することなど一般的な質問は検査会社 (H. U. POCKeT 株式会社) のコールセンターへ問い合わせをすることができる。HIV 予防や疾患に関する質問などは保健所の窓口と沖縄県感染症診療ネットワークコーディネーターを案内した。研究に関することは研究分担者の連絡先を案内した。

⑤検体検査

検査会社は、検体受領後、バーコード読込、検体前処理をして検査を行う。結果が出たら受検者に検査が完了した旨の連絡と結果確認用の URL を記載したメールを配信する。

⑥検査結果の確認

受検者は、登録したメールアドレスに検査完了の通知を受ける。自身で web サイトにアクセスし、ID と PW を使い検査結果確認画面を表示して検査結果を確認する。希望者は保健所に来所して相談

することもできるように連絡先や相談先を画面上で案内する。

検査結果が「陰性」の場合、今後の生活上での予防方法など注意点、相談先情報が表示される。

「要確認検査(陽性)」の場合には、現在のスキームではスクリーニング検査を行った後に確認検査に進む必要があるため、原則検査キットを受け取った保健所へ連絡して来所するように案内をした。希望によっては保健所が紹介するエイズ診療拠点病院 (琉球大学病院) でも検査と相談を受けられること、もしも HIV に感染していることがわかった場合には、HIV 診療拠点病院や支援団体を紹介すること、医療費などのソーシャルワーク、プライバシー保護について、感染後の日常生活について、連絡先などが表示される。

⑦事後アンケートの回答

検査結果通知後に、結果通知後アンケートへのリンクが表示され、研究参加者は自由意志にてアンケート回答を行う。結果確認後アンケートには、郵送 HIV 検査を再度利用したいか、郵送 HIV 検査を友人や知り合いに勧めたいか、今回の郵送 HIV 検査の満足度、今回の郵送 HIV 検査で改善すべき点、感想・意見を訪ねた。

3. 分析方法

問診アンケートデータおよび結果確認後アンケートデータについては、記述統計を算出した。

保健所職員によるフィードバック記述内容は、内容ごとに整理を行った。

4. 倫理面への配慮

研究責任者は、事前に山梨県立大学看護学部研究倫理審査委員会で承認を得て実施した (承認番号 2023-6)。

C. 研究結果

1. 実施プロセス

検査の流れについては、基本的には各保健所ともに同じものとなるが、それをもとに各保健所で施設環境などに合わせて検査の流れを組んでいただいた。いずれも、受検者のプライバシー保護を重視し、那覇市保健所では一つの部屋にパーティションを用意し、受検者同士の視線が合わない

ようにするなどの配慮を行っていた。パーティションがあっても受検者同士がすれ違うのはやむを得ない環境ではあったが、今回は参加者が少なかったためすれ違うことはなかった。

沖縄県南部保健所では、2つの会場を用意し待機場所をわけていた。また車で来場している方は車で待機していただき番号順に呼び出す形をとった。どのタイミングでどう受検者に声がけするのか、あるいは混んできたときの誘導をどうするのかも、想定し準備されていた。両保健所とも保健所側で手順書を作成し、どの職員でも対応できるようにしていた。さらに、この検査でどのような結果が出るのか、また検査結果を確認後どのような行動をしてほしいのかに重点を置いて、受検者に説明していた。アンケート利用に関する説明動画も独自に作成して用意されていた。

1) 那覇市保健所検査実施手順

①検査および同意書の説明、②席を案内、③受検者は同意書に記載するために研究目的書を黙読、④サインした後、職員へ渡す、⑤ポリチューブのバーコード登録を職員が読み込む。⑥他のパンフレットと共にキットを受検者へ渡す。⑦受検者はアンケートを入力、⑧終わり次第、職員に声をかけ退室。経路は一方通行となっていた。

2) 沖縄県南部保健所検査実施手順

①検査および同意書の説明、②アンケートに回答頂くことや回答いただいた内容が研究に使用されることを説明。③同意書にサイン、④検査キット一覧を見せて郵送検査の流れを説明。⑤検査キットを開封し、ポリチューブのバーコード登録を職員が読み込む、⑥郵送検査の使用経験の有無を確認、動画をその場で見るか自宅に帰ってから見るかを確認。⑦自分のデバイスでQRコードから登録。⑧その場での視聴を希望していれば動画見て分からないことや質問へ職員が対応。⑨注意事項をお伝えして退室を案内。

2. 実施の結果

1) 当日の実施状況

那覇市保健所、沖縄県南部保健所、いずれも、特に大きな問題は発生せずに、予定通りに検査を実施することができた。

2) 受検者数

受検者数は、那覇市保健所が4名、沖縄県南部保健所が40名、計44名であった。ただし、沖縄県南部保健所での受検者1名の問診票データが送信されておらず、アンケート回答を把握できたのは43名であった。

性別は、男性が39名、女性4名であった。保健所別には、那覇市保健所では4名すべてが男性で、沖縄県南部保健所では、男性35名、女性4名であった。

3) HIV 陽性者数と測定不能例

すべての受検者中で、検査の結果 HIV 陽性であった人はいなかった。検査会社に届いた検体のうち2検体が測定不能となった。1件については、ランセット使用時に適切に使用できず、採血ができなかったというケースであり、受検者からその旨の手紙が同封されていた。もう1件は、ろ紙上にカビが生えており測定不能だったものである。原因は不明である。

3. 受け取り時アンケートの結果

結果を表1に示す。概要は以下の通りである。なお、問診アンケートに回答していない受検者が1名いたため、以下では、問診票のデータがある43名をNとして%算出している。

年齢は20～39歳が約60%、20歳未満の方もいた。性的指向はゲイ46.5%、バイセクシュアル9.3%、決めたくない7.0%。

HIV 検査を受けるのがはじめてという人が48.8%であった。テイクアウト HIV 検査を知った理由は MSM 向けアプリの広告が34.9%と最多であったが、ホームページ32.6%、mabui (nankr OKINAWA) も20.9%となっていた。その他の自由記載には、ポスター、保健所の担当者の案内などがあった。

今回のテイクアウト HIV 検査を利用したきっかけは、検査キット配布時間が長く都合良いときに受け取れる25.6%、保健所の信頼がある37.2%、保健所の滞在時間が短くて済む14.0%である。

過去6か月間の HIV 予防方法はコンドームを使う81.8%、お互い検査を受ける18.2%、PrEP をする15.2%と、多様な予防方法を利用していた。

4. 結果確認後アンケートの結果

回答者数は23件であった (n=23)。

全体としては、満足度は高く、9割が満足と回答していた。その一方で、改善してほしい点があると約半数が回答していた。主には、段取りの悪さや、検査期間の短さ、検査進捗画面でステータスを知りたいということ、発送からラボ到着まで時間がかかるということ、より迅速化してほしいことなどが記されていた。

5. 検査会社からのフィードバック

主にシステムの修正に関するものが挙げられ、迅速的対応と恒久的対応とに分類することができた。

6. 保健所からのフィードバック

検査の手順や流れについては、準備段階での情報共有の必要性やシステム手順の改善の必要性に関する記述、検査キットについては、チューブの記名欄や手順説明内容の齟齬、ろ紙及びその説明・包装の改善に関する記述がなされていた。リーフレットへの追加記載に関する記述、キット配布後の利用状況の確認、管理者への管理システム更新通知の必要性、結果通知の画面については、手順説明内容の齟齬に関する記述、検査受付システム管理システムについては、バーコード読込機能の改善の必要性、保健所画面の改善の必要性に関する記述がされていた。

全体を通しての記述内容としては、保健所における郵送検査は有効とする記述、保健所における郵送検査は手順簡略化など今後の改善により有効とする記述とともに、梅毒検査追加要望が2保健所ともに記載されていた。

1) 検査キットの受付について

■ 準備段階での情報共有の必要性

- ・実施要領やタイムスケジュールの共有が必要。
- ・情報共有が遅かったため、改善を要求してもすでに間に合わない時期だったことが残念。
- ・プライバシー保護のため、対応時に注意すべき点や他の利用者に配慮する点など、事前に取り決めをして共有する必要がある。

■ 管理システム改善の必要性

- ・検査バーコードの数字の桁数が多すぎるため、

読込は同封したQRコードなど別対応もできるようにしたほうがよい。

- ・スマホで読み取り、開いたページを一度閉じると、当該ページが削除される仕様になっている場合がある。登録完了メールにアンケート入力画面へのリンクを貼付けすること等は可能か。
- ・アンケートやチェックなど入力できていないところがあれば「〇〇の入力が必要です」等と表示してほしい。
- ・バーコードを読み取ったら、仮予約画面に自動的に映るとより操作性が良い。
- ・受検者の登録画面において、同意のチェックボックスがわかりづらい。
- ・スマートフォンでも確認しやすいように字の大きさを変えられるようにしてほしい。大きくした場合でも、横に広がらずに行替え等で下にスクロールのみで入力できるようにしてほしい。
- ・スキャンできない人が多かった。
- ・バーコード受付処理順に連番(固定)がふられると、結果が出るまでの進捗管理がしやすいと感じた。現システムにある「No.」は変動するため、桁数の多いバーコードでの管理が必要となるため。

■ 手順の改善の必要性

- ・当日の説明が多かったため、事前に検査説明用のホームページにて文面や動画で内容の確認ができるようにしておいたほうが、テイクアウト検査の利点が生きてくると思う。
- ・もっと簡易にでき多くの人に検査してもらいたい。

■ その他

- ・予約なしなので来所する人が何人くらいかわからない。適正な職員人員の確保が難しい。

2) 検査キットについて

■ チューブ等の記名欄

- ・プラスチックチューブに名前の欄があり、念のために記名は必要ないことを利用者に説明した。名前の表示はなくしてほしい。
- ・郵送用封筒に無記名でよいことを記載してはどうか。

■ 手順説明内容の齟齬

- ・検査キット取り扱い説明書の注意事項の欄には採血器具のフォルダーは使用後速やかに廃棄とあり、手順4の説明では封筒で郵送することになっている。

■ ろ紙及びその説明・包装の改善

- ・思ったよりろ紙が血液を吸わなかった。
- ・採血にて、絵の表現に比べて実際には数倍の血液量が必要なため、そのことがわかるような説明が必要。
- ・手順3「採血量が不足している場合には、もう1本のろ紙もお使いください」の意図が不明。「採血量が不足している場合には、さらに血をためてしみ込ませてください」等の説明になるのでは？
- ・ろ紙は個包装されているほうが良い。ろ紙が落下等で汚れる可能性があり気になった。

■ その他

- ・プライスチックバッグの外側のバーコードが紛らわしく、検体スピッツと同じバーコードにするか、外側のバーコードは無いほうが良い。

3) 検査の流れとリーフレットについて

■ リーフレットへの追加記載の必要性

- ・結果を受け取った後の説明が事前にあるとよいと思った。結果通知に記載されているが、受検者は心構えとして受検前に目をとっておく必要があると思う。
- ・メールが届いたか確認をする必要があることをリーフレットに記載してほしい。
- ・「バーコードが読み取れない場合は手入力してください」「登録メールが来ているか確認してください。迷惑メールボックスに入っている可能性があります」を追加してほしい。

4) キット配布後の利用状況の確認

■ 保健所向けの管理システム更新通知

- ・配布後から毎日、管理システムの更新状況をチェックした。更新した際、管理者にお知らせメールが来るとページを確認するタイミングがわかりやすい。

■ その他

- ・検査依頼したあと検査結果までに時間がかかっている。ポスト投函からラボ到着まで1週間かかった。

5) 結果通知の画面について

■ 手順説明内容の齟齬

- ・リーフレットには要採血検査の場合は保健所へ連絡と記載があるが、通知には医療機関受診くださいとあるので、統一したほうが良い。
- ・通知で測定不能の場合再度検査を受けるよう記載されているが、郵送検査の再検査なのか、保健所でのスクリーニング検査のことなのか、わからない。
- ・メールに届く結果確認ページにおいて、ステータスの「発送済み」と「ラボ到着」の説明が同じになっていた。ラボに検体が届いているのかわからない。検査状況がわかりにくい。

6) 検査受付管理システムについて

■ バーコード読込機能の改善の必要性

- ・当日は袋を開封せず、手入力をしている人が多かった。
- ・スマートフォンの機種によってバーコードの読込ができなかった。

■ 保健所画面の改善の必要性

- ・検査状況一覧の「検体採取日」「検査依頼日」の表記がわかりにくかった。検査センターから保健所へのキット送付前にバーコード登録された時間が表示されないようにしてほしい。
- ・保健所画面でも詳細なステータス（結果送付や開封済など）がわかったほうが良い。陽性の場合どこまで保健所が介入するかによるが、介入する場合には、メールアドレスに保健所から連絡がある可能性があることについて事前に同意のチェック欄があるとよい。
- ・ボタンひとつで一覧をCSVダウンロードできる機能が欲しい。
- ・検体登録をするURLを開くために、メイン画面の右上の保健所から探してコピーして開くより、メイン画面からワンクリックで開くようにしてほしい。
- ・一覧の右端「操作」のXは行が消えてしまうため、保健所画面では表示しないほうが良い。
- ・ステータスの「ラボ到着」が確認できず、一時的にステータスが確認できない検体があった。
- ・配布日当日は、仮登録から依頼済に変更しているか確認作業をしていたため、ステータスを複

数選択し検索できたほうが使いやすい。

7) 全体について

■ 保健所における郵送検査は有効

- ・保健所における郵送検査キットの配布は有効だと思う。検体提出までの直接接触を極力減らすことができるため。
- ・受検しやすさを考えると郵送検査は検討の余地がある。
- ・1年に1回など定期的に行えば、定期的に受検している人が来る可能性がある。定着までは時間がかかる可能性。

■ 保健所における郵送検査は今後の改善により有効

- ・少ない医療職の配置で数多くの検査機会を提供するにはいい方法。人手や時間がかかると活用できない。受検者がシステムで事前予約、事前入力できれば、職員配置等の体制も整えやすく、受検者への配慮にもなる。
- ・受け渡しに時間を要さない方法が定着でき、説明事項もパンフや動画でできれば、保健所での負担も減り、受検者のさっと受け取って帰れることが定着できれば、今後事業化にあたり受検者も増えるかもしれない。

■ 梅毒検査追加要望

- ・梅毒を同時検査できるようにしてほしい。
- ・梅毒の希望者が多いので、HIVだけでなく梅毒も同時に検査ができればよいと思う。

■ 時間がかかることは要改善

- ・保健所へ検査キットを取りに来て1週間後に結果が届くことは、受検者にとってのメリットがあまり感じられなかった。
- ・保健所で実施する場合、簡易に検査できるはずのテイクアウト検査の利点をつぶしてしまっていないか。そのせいで受検者の減少につながっていないか懸念される。

■ 法的解釈

- ・管理医療機器（ランセット）の取り扱いについて、国としての法的解釈（管理医療機器販売業の届け出、医師・歯科医師・薬剤師の配置について）をはっきりさせた上、ガイドライン作成を進めてほしい。
- ・（全体に）法的解釈の整理をしてほしい。

■ 性的指向を限定するための改善

- ・保健所で実施をする場合は、性的指向を限定した検査会は広報が難しいと感じた。誰でも受検可能と広報しながら、説明ページへと読み進めていくと、ゲイ、バイセクシュアルの文言が出てくることにも違和感があった。はっきりと限定したほうが当事者は利用しやすい。
- ・外見からは性的指向がわからず、セクシュアリティは断定できないため、受付不可の判別は難しい。

8) その他

- ・保健所に来るのをためらう人もいると思う。保健所での手渡し以外の方法も確立できたらよいと思う。
- ・匿名、無料も目立つようにしてほしい。
- ・研究の同意に関しては、紙ではなく広報のバナーやリーフレットから案内した研究同意用のホームページに案内し、同意を得た方へ配布先を案内するという流れはどうか。

7. 感染症診療ネットワークコーディネーターからのフィードバック

検査実施日以前から問い合わせがあった。検査の流れに対応するスタッフについて、検査の内容など初めての試みに対して情報が十分でなく受検者の理解や想像が追いつかない状況があったため確認の問い合わせが12件あった。広報において利用希望者が困らない情報をわかりやすく提供し、陽性・陰性の結果に対する流れや検査前の質問、スタッフ対応の可視化がさらに進めば、受検者の安心感が増すと思われる。

新型コロナウイルス感染症の影響で保健所が停止していたことが影響し、保健所の利用経験が乏しい人もいた。本事業の開催は、保健所でのHIV検査意識を再度高める意味でも意義があった。今後は保健所をより身近な場所として認識させるための発信や対応方法の工夫が必要。沖縄県の地理的特性を考慮すると、この検査は画期的な手段となり得る。

HIV検査やセクシュアリティに関する不安が受検行動に大きく影響するため、安心して受けられる環境をどのように整えるかが課題。

検査事業実施期間中は対象者の取り込み基準に

ついて、会場の導線、結果が陽性だった場合の対処、検査実施に関する相談（採血失敗）など7件があった。検査事業終了後は、対象者の基準についての苦情などがあった。HIV 検査に関するハードルの高さを感じる受検者もいたが、コーディネーターへ自ら問い合わせを行うなど検査意欲の高さを感じられた。

D. 考察

従来の郵送検査キットは、配布時点以降の受領者の状況を、配布者が確認することができない。そのため、検体採取状況や検査結果に応じた配布後の相談および支援を行うことができなかった。

保健所において住民の健康支援につながる HIV 感染症検査を行うためには、検査に関する相談および支援を提供できる体制を伴った検査キットの配布が望ましいと考えた。今回使用する郵送検査キットは、株式会社 H. U. POckeT が開発した検査キットおよび検査検体追跡管理システムを利用した。保健所職員はこのシステムを用いて提供した検査キットの返送状況、結果確認状況を確認することができる。

必要に応じてメールで連絡をすることができるようになった。それにより、公費を用いて無料で提供する検査事業として、利用者に対して責任を持った健康支援としての検査機会を提供することができるようになった。

1. 保健所における HIV 郵送検査実装のメリット

今回の保健所における郵送検査キットの配布は受検者の満足度は概ね高く、受検者にとっては保健所における郵送 HIV 検査を導入することは利便性と選択肢の拡大という点でメリットがあった。

また、保健所側にとっても、新興再興感染症等の流行時にも HIV 検査の継続をしていくための手段として、実際に郵送 HIV 検査を活用できることを実装により示すことができたという点、また保健所職員が実際に実地で郵送 HIV 検査を活用できた点で、今回の研究の成果は大きいと考えられる。

さらに、保健所で郵送 HIV 検査を実施する場合の手順や検査キット、システムにおいて改善すべき点が、明確化されたという点も、今後の実装普

及を検討する上で、重要な成果といえよう。

2. 今後の課題と改善点

郵送 HIV 検査を保健所で実装するためには、以下のような課題と改善すべき点が存在することが明らかになった。今後はこれらの課題に取り組み、改善を図ることが重要と言える。特に、郵送 HIV 検査を保健所で普及する場合には、郵送 HIV 検査であるがゆえの簡易さとスピード感が求められると思われ、それらを備えることで、実装がより広まると考えられる。

- ・保健所職員や受検者が扱った管理システムは、改善について詳細なコメントが得られ、より使いやすい使用感への改善が求められる。

- ・結果確認画面での説明文や案内文については、正確さを担保しながら、よりユーザーにわかりやすい伝わりやすい表記への改善が求められる。

- ・検査の利用の有無は、対象者に合わせた周知、広報によるところが非常に大きい。利便性の高いプレ検査を、イラストや動画を用いて適切に周知していくことが必要。

- ・特に MSM 向けの検査であるということではあるが、対象となる MSM の方々に情報が十分に行き届くような工夫が必要となる。継続的な実施により、広報の効果が積み上がり認知が向上する。

- ・ガイドライン、マニュアル、通知などで保健所が混乱なく不安なく実施できる後押しが必要。

- ・検査費用の助成や負担についての制度の整理が必要となる。

- ・個人の健康支援、健康管理に必要な情報として、秘匿性は確保しつつ、匿名性についてはメールアドレスや電話番号など、適切な管理の上で必要な範囲で取得および利用することの正当性について検討が必要。

- ・検査キットの取り扱いに関して、ランセットの医療機器としての取り扱いに関する規制が、郵送検査キットとしての特性を活かしづらい状況にある整理と検査利便性の向上を目的とした変更や解釈などが望まれる。

E. 結論

HIV 検査実施の促進を目的として、沖縄県の2保

健所において、HIV 郵送検査を活用する実装研究をおこなった。44名が受検するに至った。今回 HIV 検査初受検の人が約半数であり、利便性が受検動機につながった。サービス自体の満足度は9割が好意的な反応であった。その一方で、改善すると良いと思うことがあったという人も約半数おり、特に時間がかかることや梅毒など他の性感染症検査も同時に受けたいという意見があった。検査会社や保健所職員等からは手順やシステムなどについての具体的課題や改善点がフィードバックとして挙げられ、今後役に立つ知見が得られた。

以上より、保健所における HIV 検査機会拡大を狙うために、HIV 郵送検査を実装・活用することは有効であることが確認された。今回得られた示唆や改善点をもとに、修正を加えたうえで、実施環境を整えていく必要がある。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

(発表雑誌名巻号・頁・発行年なども記入)

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

本間隆之、岩橋恒太、今村顕史. MSM における「HIV 検査の選好」に関するコンジョイント分析を用いた検討. 日本エイズ学会学術集会. 2023年12月. (京都)

H. 知的所有権の出願・登録状況

(予定を含む)

なし

表1 問診データによるテイクアウト HIV 検査での受検者の属性・特性

	合計		検査結果別					
			陰性		測定不能		未検査	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
問2.性別								
男性	39	(90.7%)	33	(89.2%)	2	(100.0%)	4	(100.0%)
女性	4	(9.3%)	4	(10.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
問3.あなたは次のうちどれが一番近いですか								
ゲイ	20	(46.5%)	18	(48.6%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)
レズビアン	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
バイセクシュアル	4	(9.3%)	2	(5.4%)	0	(0.0%)	2	(50.0%)
異性愛者	11	(25.6%)	10	(27.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
決めたくない	3	(7.0%)	2	(5.4%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
わからない	3	(7.0%)	3	(8.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	2	(4.7%)	2	(5.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
問4.国籍								
日本	41	(95.3%)	35	(94.6%)	2	(100.0%)	4	(100.0%)
その他	2	(4.7%)	2	(5.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
問5.居住地								
那覇市	20	(46.5%)	18	(48.6%)	1	(50.0%)	1	(25.0%)
那覇市以外の沖縄県	22	(51.2%)	18	(48.6%)	1	(50.0%)	3	(75.0%)
沖縄県外の日本	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	1	(2.3%)	1	(2.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
問6.HIV検査を受けるのは、今回で何回目ですか								
はじめて	21	(48.8%)	18	(48.6%)	0	(0.0%)	3	(75.0%)
2-5回目	13	(30.2%)	10	(27.0%)	2	(100.0%)	1	(25.0%)
6-9回目	2	(4.7%)	2	(5.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10回以上	5	(11.6%)	5	(13.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
わからない	2	(4.7%)	2	(5.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
問7.最後に受けたHIV検査はいつですか。								
はじめて	21	(48.8%)	18	(48.6%)	0	(0.0%)	3	(75.0%)
半年以内	2	(4.7%)	2	(5.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
1年以内	5	(11.6%)	3	(8.1%)	1	(50.0%)	1	(25.0%)
1年以上3年以内	6	(14.0%)	6	(16.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
3年以上前	8	(18.6%)	7	(18.9%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)
わからない	1	(2.3%)	1	(2.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
問8.最後に受けたHIV検査の場所はどこですか。								
はじめて	22	(51.2%)	19	(51.4%)	0	(0.0%)	3	(75.0%)
那覇市保健所	1	(2.3%)	1	(2.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他の県内保健所	2	(4.7%)	2	(5.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
それ以外の保健所	6	(14.0%)	6	(16.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
病院やクリニック	5	(11.6%)	4	(10.8%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
郵送検査	7	(16.3%)	5	(13.5%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)
イベント検査会	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

表1 問診データによるテイクアウト HIV 検査での受検者の属性・特性(続き)

	合計		検査結果別					
			陰性		測定不能		未検査	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
問9.今までに次の性感染症にかかったことがありますか								
ない	30	(69.8%)	25	(67.6%)	2	(100.0%)	3	(75.0%)
クラミジア	3	(7.0%)	2	(5.4%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
淋菌	2	(4.7%)	1	(2.7%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
梅毒	5	(11.6%)	5	(13.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ケジラミ	4	(9.3%)	4	(10.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
A型肝炎	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
B型肝炎	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
性器ヘルペス	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
尖圭コンジローマ	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
アメーバ赤痢	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
問10.性交渉の相手の性別を教えてください								
男性	25	(58.1%)	22	(59.5%)	2	(100.0%)	1	(25.0%)
女性	10	(23.3%)	9	(24.3%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
両方	4	(9.3%)	3	(8.1%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
答えたくない	4	(9.3%)	3	(8.1%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
問11.過去1年間の性交渉の相手は何人ですか								
いない	3	(7.0%)	2	(5.4%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
1人	10	(23.3%)	9	(24.3%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
2人	8	(18.6%)	7	(18.9%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)
3人	1	(2.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
4人	2	(4.7%)	2	(5.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
5-9人	10	(23.3%)	9	(24.3%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)
10人以上	6	(14.0%)	5	(13.5%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
その他、無回答	3	(7.0%)	3	(8.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
問12.今回の「保健所で配布する郵送検査」を何でしりましたか								
9monの広告	15	(34.9%)	12	(32.4%)	2	(100.0%)	1	(25.0%)
mabui(nankr沖縄)	9	(20.9%)	8	(21.6%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
SNS	6	(14.0%)	6	(16.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ゲイバー	1	(2.3%)	1	(2.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
那覇市ホームページ	14	(32.6%)	11	(29.7%)	1	(50.0%)	2	(50.0%)
その他	8	(18.6%)	7	(18.9%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
問13.今回の検査を受けたきっかけは何ですか								
配布時間長く、都合良いときに受け取れる	11	(25.6%)	10	(27.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)
保健所の信頼がある	16	(37.2%)	13	(35.1%)	1	(50.0%)	2	(50.0%)
滞在時間短くて済む	6	(14.0%)	5	(13.5%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
感染が気になる行為があった	8	(18.6%)	7	(18.9%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)
感染が気になる症状があった	6	(14.0%)	6	(16.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
定期的に受検している	8	(18.6%)	7	(18.9%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
特にない	8	(18.6%)	7	(18.9%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
血液からの感染が心配	1	(2.3%)	1	(2.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	5	(11.6%)	4	(10.8%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)
問14. 過去6か月間のHIV予防方法								
コンドームを使う	27	(81.8%)	22	(78.6%)	2	(100.0%)	3	(100.0%)
PrEPをする	5	(15.2%)	5	(17.9%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
相手がHIVの治療中でコントロールできているか確認する	3	(9.1%)	3	(10.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
お互い検査を受ける	6	(18.2%)	5	(17.9%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)

表2 結果確認後アンケート調査結果(数値は%、N=23)

	とても 思う	まあ 思う	あまり そう わない	まったく そう わ ない	無回答
今回のような「保健所で持ち帰る郵送検査」を、また利用したいと思いますか？	47.8	8.7	39.1	0.0	4.3
今回のような検査を、友人やお知り合いなどに勧めたいと思いますか？	56.5	30.4	8.7	0.0	4.3
	とても 満足 してい る	まあ 満足 してい る	あまり 満足 してい ない	まったく 満足 してい ない	無回答
今回の検査について、あなたは全体としてどれくらい満足していますか？	47.8	43.5	0.0	4.3	4.3
	なかった	あった	無回答		
今回の検査について、改善すると良いと思うことはありましたか？	34.8	52.2	13.0		
【自由記載（一部）】 今回のような「保健所で持ち帰る郵送検査」を、また利用したいと思いますか？	手ごろにできる、自分のタイミングで簡単に検査できる、結果を聞きに保健所に行かなくてよく楽、予約しなくてよい、保健所の委託業者のため信ぴょう性が高く感じる、もう少しスムーズにして欲しい、郵送に時間がかかり過ぎる、自分で採血するのに少し怖さは有った				
【自由記載（一部）】 今回のような検査を、友人やお知り合いなどに勧めたいと思いますか？	お手頃、すぐポストにやるだけだから、予約が取れなかったりして行かない人もいるのでこれなら受けてくれると思うので、安心してもらいたいから、知人とHIVやその検査の話をする機会がない				
【自由記載（一部）】 今回の検査について、改善すると良いと思うことはありましたか？	段取りが悪かったりもっと期間を長くして欲しい、梅毒とかの検査も同時に、他の検査結果も分かると良い、検査の進捗確認画面のステータスがしばらく依頼済みのまま変化なかった、発送からラボ到着までに時間がかかった、出来れば結果をもっと迅速化して欲しい、検体がまだ届いてませんよという督促メールがくるのが早く不安になってしまった、郵送した検体を追跡できたならよかった、検査キットを配るタイミングは12月など郵便が忙しくなる時期は避けた方がいい、受取も郵送だと良い、検査期間の設定もう少し長い方がいい、フライヤーやポスターなどで受け取る場所(部署)をもう少し分かりやすく案内して欲しい、もう少し血液の量が少なくても検査が出来たらと思います				

表3 検査会社によるフィードバック

分類	課題	改善案
システム	携帯電話の機種によりバーコードの読み取り精度に差異があり、バーコードNo.を直接入力する場面があった。	①バーコードを手動で入力することが出来ることを案内に追加（迅速的対策） ②バーコード読み取り精度改善（恒久対策）
システム	バーコードNo.を直接入力する場合、桁数が多く入力ミスを誘引しやすい	バーコード桁数を変更し手入力の負担軽減（恒久対策）
システム	バーコード登録時、内外のカメラを切り替えると、バーコード以外の番号が表示される	①規定以外の番号が入力されるため実用上問題ないため迅速的な対策はしない ②システム改変により対応（恒久対策）
システム	アンケート画面の文字が小さく見にくい	システム改変により対応（恒久対策）
動画	動画の再生時間が長い（多くの人がHIV検査が初めてでないため動画を見る必要が無い、若しくは事前にWebで確認済み）	説明上、必須部分を整理し、動画の再生時間の短縮する（恒久対策）

検査広報用バナー(アプリに掲示)



アンケートに回答して検査キットを受け取ろう。

TAKE OUT

テイクアウト HIV検査

HIVのみです。梅毒検査はありません。

12/8 (金) 11:00~19:00
配布場所 那覇市保健所にて (105相談室)

12/10 (日)~13 (水)・15 (金) 9:00~12:00, 13:00~17:00
配布場所 南部保健所にて (健康推進班)

簡単5ステップ

- 1 簡単な問診・アンケート
- 2 検査キットを受け取り
- 3 ご自宅で好きなタイミングで採血 (検査キット受け取り後、2-3日以内)
- 4 ポスト投函
- 5 結果はWebで確認

※アンケート結果は個人が特定されないよう集計され、エイズ対策の研究に役立てられます。

「令和5年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」により作成



アンケートに回答して検査キットを受け取ろう。

TAKE OUT

テイクアウト HIV検査

HIVのみです。梅毒検査はありません。

12/16 (土) 南部保健所にて 追加配布決定!!

12/10 (日)~13 (水) 9:00~12:00
12/15 (金)・16 (土) 13:00~17:00

配布場所/ 南部保健所にて (健康推進班)

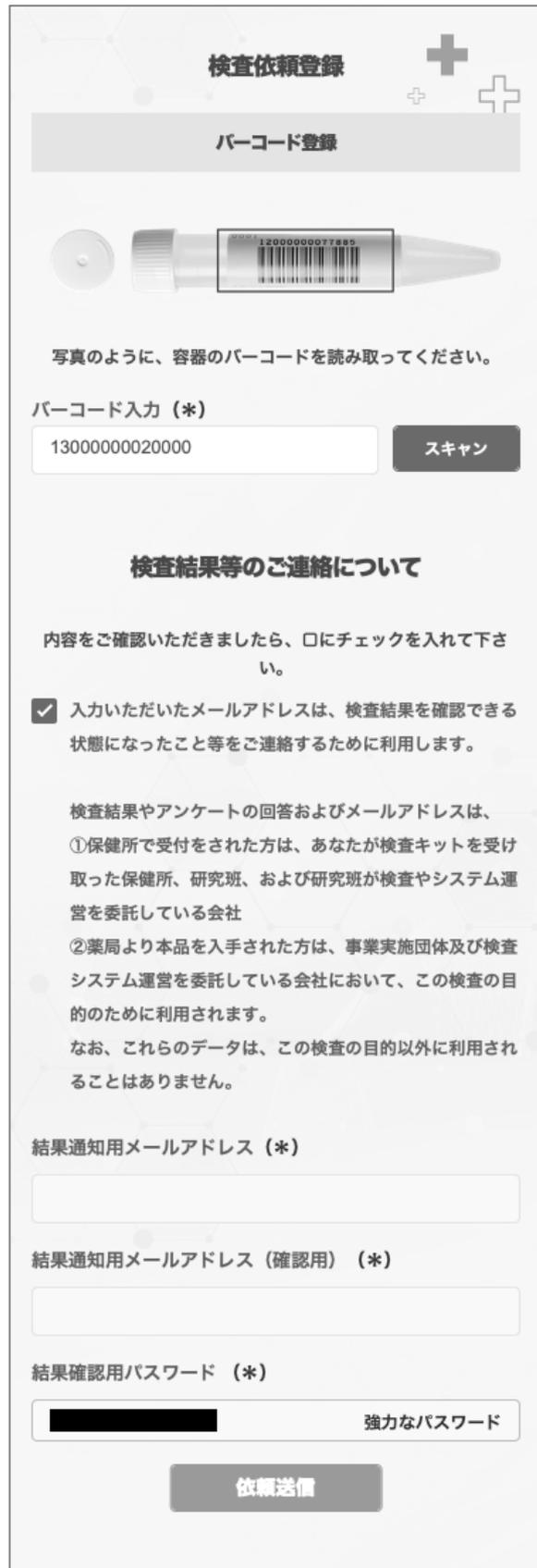
簡単5ステップ

- 1 簡単な問診・アンケート
- 2 検査キットを受け取り
- 3 ご自宅で好きなタイミングで採血 (検査キット受け取り後、2-3日以内)
- 4 ポスト投函
- 5 結果はWebで確認

※アンケート結果は個人が特定されないよう集計され、エイズ対策の研究に役立てられます。

「令和5年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」により作成

検査申し込み画面



検査依頼登録

バーコード登録



写真のように、容器のバーコードを読み取ってください。

バーコード入力 (*)

13000000020000 スキャン

検査結果等のご連絡について

内容をご確認いただきましたら、□にチェックを入れて下さい。

入力いただいたメールアドレスは、検査結果を確認できる状態になったこと等をご連絡するために利用します。

検査結果やアンケートの回答およびメールアドレスは、

- ①保健所で受付をされた方は、あなたが検査キットを受け取った保健所、研究班、および研究班が検査やシステム運営を委託している会社
- ②薬局より本品を入手された方は、事業実施団体及び検査システム運営を委託している会社において、この検査の目的のために利用されます。

なお、これらのデータは、この検査の目的以外に利用されることはありません。

結果通知用メールアドレス (*)

結果通知用メールアドレス (確認用) (*)

結果確認用パスワード (*)

強力なパスワード

依頼送信



沖縄 お持ち帰り テイクアウト HIV検査

検査結果を
お持ち帰り
郵送配布
※郵送料別

那覇市保健所

12/8

11:00~19:00

配布終了

MAP >

沖縄県南部保健所

12/10・13・15・16

9:00~12:00, 13:00~17:00

配布終了

MAP >

テイクアウトHIV検査とは
那覇市保健所、沖縄県南部保健所でHIV検査キットを無料で配布いたします。ご自宅で好きなタイミングで採血しポスト投函、結果はWebで確認できます。
予定配付数が終了した場合はこのサイトでお知らせします。

琉球大学大学院医学研究科
仲村秀太先生より
監修コメント

車の定期メンテナンスと同じように健康診断と並んで、HIVをはじめとする性感染症の定期的なチェック（年に1、2回）は症状に関わらず重要です。

テイクアウトHIV検査の流れ

- 検査キットを受け取り

- 保健所へ来所。
- 自分のスマホでQRコード読み取り
- メールアドレスとパスワードの登録
※パスワードは結果確認するために必要です。
- アンケート回答

- ご自宅で好きなタイミングで採血
- ご自宅で好きなタイミングで採血
(検査キット受け取り後、2-3日以内にお願います)
- ポストに投函
- ポストに投函します。
- 結果はWebで確認

検査キットが検査会社へ到着後、72時間以内に検査結果が出ます。ご登録いただいたメールに検査結果が表示されるURLが届きます。メールアドレスと設定頂いたパスワードを入力して検査結果をご確認ください。

判定結果について

陰性の場合	+
要採血検査の場合	+
測定不能の場合	+

結果が「要採血検査」のときは、必ず検査キットを受け取った保健所へ連絡して相談してください。

今回の検査について

HIV抗原抗体プレスクリーニング検査とは？	+
全血（ろ紙血）とは？	+

**テイクアウトHIV検査
スケジュール・会場の詳細**

**テイクアウトHIV検査
スケジュール・会場の詳細**

保健所へ行って
検査キットを受け取り、

那覇市保健所

会場住所
〒902-0076
那覇市与儀1-3-21 1階105相談室

電話
098-853-7972

実施日
12/8 (金) (配布終了)

配布時間
11:00~19:00 (事前予約不要)

配布回数
先着50キット

沖縄県南部保健所

会場住所
〒901-1104
沖縄県南風原町字宮平212

電話
健康推進班 感染症担当 / 098-851-3555

実施日
12/10 (日) ~12/13 (水)、12/15 (金)、
12/16 (土) (配布終了)

配布時間
9:00~12:00, 13:00~17:00
(事前予約不要)

配布回数
先着100キット

HIV/AIDSに関する情報

ひとりがかかえないで、
ひとりて悩まないで

予防啓発や検査機関に関する最新情報、セクシャルティに関すること、検査結果を待ちの不安やまた陽性確認後の不安、悩みの相談窓

ひとりがかかえないで、
ひとりて悩まないで

予防啓発や検査機関に関する最新情報、セクシャルティに関すること、検査結果を待ちの不安やまた陽性確認後の不安、悩みの相談窓口などを一覧にしています。疑問や不安を一人で悩まず、かかえず、『正しい情報』を知り、時には専門窓口へ相談することも大切です。

HIV OKINAWA [HP >](#)

沖縄発！ 医療者が伝える
HIV/AIDS情報サイト

**沖縄県感染症診療ネットワーク
コーディネーター** [HP >](#)

HIV検査を希望される方や、HIV陽性者の療養や生活に関しての相談と支援を行っておりです。経済的な相談やメンタルの相談があれば、適宜必要な機関にお繋ぎすることも可能です。琉球大学病院 第一内科医局内(担当：新里)

TEL 098-895-1144

nankr沖縄 (なんくるおきなわ) [HP >](#)

沖縄県のHIVの感染の状況を改善するために、沖縄で生まれた団体です。県内外の、行政、専門家、活動グループを情報でつながら、協働で沖縄の性的健康(Sexual Health)の改善に取り組みしています。相談はコミュニティセンター mabui で対面、電話、メールの3通りでご利用いただけます。

TEL 098-862-0114

ぶれいず東京 [HP >](#)

HIV陽性者、パートナー、家族などからの相談を受けています。また、確認検査の結果を待っている人からの相談、感染が不安な人の相談など、HIVと向き合おうする人たちを応援しています。

**沖縄県保健医療部ワクチン・
検査推進課 感染症予防班** [HP >](#)

沖縄県内保健所や医療機関の検査体制の
情報発信等を行っています。

MSM むけ検査広報 (商業施設へのポスター掲示、バナー)





よくあるご質問

Q パスワードを忘れた場合はどうしたらいいですか？

A 依頼登録メールを確認してください。
なお、パスワードは再発行ができないため、忘れないようにお気を付けてください。

Q 廃棄方法を教えてください。

A 種類別に以下の方法で廃棄、または返送をするようにしてください。

採血器具	ろ紙	絆創膏	アルコール綿
採血済み検査キットは、キットが入っていた袋に入れて、返信用封筒で返してください。	未使用もしくは検体送付しない紙は、可燃ごみとして廃棄ください。	可燃ごみとして廃棄ください。	可燃ごみとして廃棄ください。

Q 結果は何日くらいで見れますか？

A 検体がラボに到着してから3日ほどで結果通知メールをお送りいたします。検体の状況につきましては、登録いただいたメールアドレス、パスワードでログイン頂くことで確認可能です。

令和5年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」により作成

検査や HIV に関する問い合わせ

那覇市保健所 保健総務課 感染症グループ
沖縄県那覇市与儀 1-3-21
TEL : 098-853-7972

検査キットに関する問い合わせ

H.U. POCKET 株式会社
https://www.hugp.com/hupocket/index.html
0120-82-1213 月曜日～金曜日 9:00-17:15
(土・日・祭日・年末年始は休み)



HUP-003.2023.10.0000

テイクアウト HIV検査

検査の目的

本検査は、指先から採取した血液を用いHIV抗体および抗体の有無を検査致します。
オンラインで問診に回答後、血液を染み込ませたる紙を検査ラボへ郵送いただくことで、匿名性を維持したまま簡単に検査を受けることができます。
なお本検査はアスクリーニングに該当します。
結果が「要採血検査」の場合には、この検査キットを受け取った保健所に連絡をして確認のための検査を受けて下さい。



H.U. POCKET

テイクアウトHIV検査の流れ

保健所で実施いただくこと

- 手順 1** 二次元バーコードの読取

検査を開始する際に、右記の二次元バーコードもしくはURLから、「検査依頼登録ページ」へアクセスください。

<https://polc-web.azurefd.net/M/M22/MTg4MTU=>

二次元バーコードはここ

那覇市保健所
- 手順 2** 【検査受付】ポリチューブバーコード読み込み

ポリチューブのバーコードを携帯電話等で読み込んでください。

※読み取りの際に、「カメラへのアクセスを求められます」と出た場合は、使用の許可をしてください。
- 手順 3** メールアドレスとパスワードの登録

検体の受領が確認できない場合や測定が完了した場合に登録いただくメールアドレスにお知らせ致します。メールアドレスとパスワードをご入力下さい。

※個人の特定につながるようなメールアドレスはお控えください。
(例 氏名●●●.co.jpや○○会社名.comなど)

※パスワードは再発行ができないため、忘れないようにお気を付けてください。

※モバイルやPCのブラウザでログイン設定(電話番号認証)をされているお客さまの場合、弊社からお送りする登録メールや検査結果確認メールを利用する事ができません。ブラウザ設定を解除して頂くいただくか、又は弊社ドメイン「○○○○」を受信リストに加えていただきますようお願い申し上げます。

※必要に応じて、保健所から連絡が入る場合があります。
- 手順 4** 問診の入力

Web上に示される問診にご回答ください。

ご自宅でも実施いただくこと

- 手順 5** 検体採取方法の動画

検体の採取方法について動画でご確認ください。

※気分が悪くなった場合は、直ちに中止してください。
- 手順 6** 検体採取(ご自宅)

ご自宅で採取される際には、キット同梱の取扱説明書をご参考ください。下記Webサイトにも同じ動画を掲載しておりますので、必要に応じてご参考ください。

<https://www.hugp.com/hupocket/index.html>

二次元バーコードはここ

※ご登録済みの方
- 手順 7** 検体送付(ご自宅)

採血したる紙をポリチューブへ入れた状態で、返信用封筒へ入れ、お近くのポスト等から発送ください。
- 手順 8** 検査結果のご確認(ご自宅)

検体が検査ラボへ到着後、72時間以内に検査結果が出ます。ご登録いただいたメールに検査結果が表示されるURLが届きます。メールアドレスと設定いただいたパスワードを入力すると検査結果がご確認いただけます。

よくあるご質問

Q パスワードを忘れた場合はどうしたらいいですか？

A 依頼登録メールを確認してください。
なお、パスワードは再発行ができないため、忘れないようにお気を付けてください。

Q 廃棄方法を教えてください。

A 種類別に以下の方法で廃棄、または返送をするようにしてください。

採血器具	ろ紙	絆創膏	アルコール綿
			
採血済み検査キットは、キットが入っていた袋に入れて、返信用封筒で返送ください。	未使用もしくは検体送付しないろ紙は、可感ごみとして廃棄ください。	可感ごみとして廃棄ください。	可感ごみとして廃棄ください。

Q 結果は何日くらいで見えますか？

A 検体がラボに到着してから3日ほどで結果通知メールをお送りいたします。検体の状況につきましては、登録いただいたメールアドレス、パスワードでログイン頂くことで確認可能です。

令和5年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策推進研究事業「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」により作成

検査のHIVに関する問い合わせ

沖縄県南部保健所 健康推進班
沖縄県島尻郡南風原町宮平 212
TEL：098-889-6591

検査キットに関する問い合わせ

H.U. POCKET株式会社
https://www.hugg.com/hupocket/index.html
[お問い合わせ先] 月曜日～金曜日 9:00-17:15
☎0120-82-1213 [土日祝日・年末年始は除く]

H.U. POCKET

テイクアウト HIV検査

検査の目的

本検査は、指先から採取した血液を用いHIV抗原および抗体の有無を検査致します。
オンラインで問診に回答後、血液を染み込ませたる紙を検査ラボへ郵送いただくことで、匿名性を維持したまま簡単に検査を受けることができます。
なお本検査はアスクリーニングに該当します。
結果が「要採血検査」の場合は、この検査キットを受け取った保健所に連絡をして確認のための検査を受けて下さい。



テイクアウトHIV検査の流れ

保健所で実施いただくこと

手順 1 二次元バーコードの読取

検査を開始する際に、右記の二次元バーコードもしくはURLから、「検査依頼登録ページ」へアクセスください。

<https://polc-web.azurefd.net/M/M22/MTg4MTU=>

手順 2 【検査受付】ポリチューブバーコード読み込み

ポリチューブのバーコードを携帯電話等で読み込んでください。

※読み取りの際に、「カメラへのアクセスを求めています」と出た場合は、使用の許可をしてください。

手順 3 メールアドレスとパスワードの登録

検体の受領が確認できない場合や測定が完了した場合に登録いただくメールアドレスにお知らせ致します。メールアドレスとパスワードをご入力下さい。

※個人の特定につながるようなメールアドレスは控えてください。
[例] 氏名@ドメイン.jp (ドメインは任意の文字列)
※パスワードは再発行ができないため、忘れないようにお気を付けてください。
※モバイル/PCにドメイン設定(受信拒否設定)をされているお客様の場合、弊社からお送りするご登録メールや検査結果通知メールをお届きできません。ドメイン設定を解除して頂くいただくか、又は弊社サイト「O」の「O」を登録リストに追加していただきますようお願い申し上げます。
※必要に応じて、保健所から連絡が入る場合があります。

手順 4 問診の入力

Web上に示される問診にご回答ください。

ご自宅で実施いただくこと

手順 5 検体採取方法の動画

検体の採取方法について動画でご確認ください。

※画面が暗くなった場合は、直ちに中止してください。

手順 6 検体採取(ご自宅)

ご自宅で採取される際には、キット同梱の取扱説明書をご参考ください。
下記Webサイトにも同じ動画を掲載しておりますので、必要に応じてご参考ください。

<https://www.hugg.com/hupocket/index.html> ※ご登録済み

手順 7 検体送付(ご自宅)

採血したる紙をポリチューブへ入れた状態で、返信用封筒へ入れ、お近くのポスト等から発送ください。

手順 8 検査結果のご確認(ご自宅)

検体が検査ラボへ到着後、72時間以内に検査結果が出ます。ご登録いただいたメールに検査結果が表示されるURLが届きます。メールアドレスと設定頂いたパスワードを入力すると検査結果がご確認いただけます。

162

先生たちから 特別コメント /

車の定期メンテナンスと同じように健康診断と並んで、HIVをはじめとする性感染症の定期的なチェック(年に1、2回)は症状に関わらず重要です。

地域や職場で健康診断を受ける機会が年に1、2回あると思います。健康診断を受ける機会が無い方も、ご自分の体重や運動不足を気にしたりすることがありませんか? このように普段から皆さんはご自分の健康のことを大なり小なり意識されているはず。皆さんご自身のHIVステータスを少なくとも年に1回確認しておくことも、皆さんご自身の健康をいたわるという点で同じくらい大切なことと私たちは考えています。大事なことなので強調しますが、車の定期メンテナンスと同じように健康診断と並んで、HIVをはじめとする性感染症の定期的なチェック(年に1、2回)は症状に関わらず重要です。

HIVがあったとしてもしっかりと治療を受ければ、今までのような健康を維持しつつ普段通りの生活を送ることができます。また、しっかりと治療を受けHIVを検出限界以下にコントロールすることで、パートナーにHIVを感染させてしまうことはありません。治療費やプライバシーに関わる問題もしっかりと専門病院で対応することができます。

HIV露営検査は保険所での定期検査と違って、自分のタイミングで検査をすることが可能です。ぜひ、この機会を利用していただければと思います。

琉球大学大学院 医学研究科 仲村秀太先生

はじめまして!!

感染症診療ネットワークコーディネーターの新里です。沖縄県では、無料・匿名で検査ができる保険所が9カ所あります。また、9カ所の医療機関でも検査を受けることができます。

HIV検査を受けたいけど、「結果が陽性だったら...」、「知り合いにあつたらどうしよう...」と考えると、検査を受けたくない、とおもつ方もいらっしゃるかと思います。まずは自分の身体の状態を知るために、少しだけ勇気を出して、検査を受けてみませんか? もしも検査で「陽性」であってもあなたを一人にはしません。

ひとりでも抱えることはありません。いつでも相談できるひと、場所がたくさんあります。検査に関することや不安なことがあれば、相談してください。いつでも待っています。

※医療機関では一部匿名で検査も実施しておりますが、医師に発生、再発のため事前にご連絡をお願いします。

琉球大学病院 沖縄県感染症診療ネットワークコーディネーター 新里さん

HIV/AIDS に関する情報

沖縄県では、HIV感染症/エイズ患者の皆さまが、適切な各種医療サービスを受けられるよう「感染症診療ネットワークコーディネーター」を琉球大学病院に配置しています。私たちは、検査で陽性となった方の受診や生活に関する相談や支援も行っています。この結果を見て不安や疑問などがあれば、匿名(仮名)でも構いませんので、お気軽にご連絡ください。

琉球大学病院 沖縄県感染症診療ネットワークコーディネーター

098-895-1144 (平日9時~17時)

担当 新里(シンザト)

【令和5年度厚生労働省研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査体制の改善と効果的な受診誘導のための研究」により作成】

ひとりでかかえないで、ひとりで悩まないで

予防啓発や検査機関に関する最新情報、セクシャリティに関すること、検査結果を待ちの不安やまた陽性確認後の不安、悩みの相談窓口などを一覧にしています。疑問や不安を一人で悩まず、かかえず、「正しい情報」を知り、時には専門窓口へ相談することも大切です。

HIV OKINAWA

沖縄県! 医療者が伝える HIV/AIDS情報サイト



HP <https://hiv-okinawa.com/>



沖縄県感染症診療ネットワークコーディネーター

HIV検査を希望される方や、HIV陽性者の医療や生活に關しての相談と支援を行っております。

琉球大学病院 第一内科医局内(担当:新里)

098-895-1144

HP <https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/vaccine/yobou/hiv/aids-coordinator.html>



nankr沖縄 (なんくるおきなわ)

沖縄県内外の、行政、専門家、活動グループを情報でつながら、各府で沖縄の性的健康(Sexual Health)の改善に取り組んでいます。

098-862-0114

詳しくは、「nankr OKINAWA」で検索

HP <http://nankr.jp/>



ぷれいす東京

HIV陽性者、パートナー、家族などからの相談を受けています。また、産婦科の結果を待っている人からの相談、感染が不安な人の相談など、HIVと向き合おうとする人たちを応援しています。

HP <https://ptokyo.org/>



沖縄県保健医療部 ワクチン・検査推進課 感染症予防班

沖縄県内保健所や医療機関の検査体制の情報発信等を行っています。

HP <https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/vaccine/index.html>



CHARM

すべての人が健康に過ごせる社会をめざす非営利活動法人(NPO)です。HIV陽性者のためのサポートや外国籍住民が健康に暮らすための多言語環境の整備を行っています。

HP <https://www.charm-japan.com/>



HIVマップ

「電話相談」「ピアサポート」「コミュニティセンター」「予防啓発」「検査・医療・福祉」など、HIVに関する役立つ情報を整理して提供しています。

HP <https://hiv-map.net/>

HP https://hiv-map.net/h_pot/

